

# 卒後臨床研修センター通信

平成24年3月号

発行: 卒後臨床研修センター



## センターの活動予定

- ◆4月2日(月)～6日(金) オリエンテーション
- ◆4月21日(土)、22日(日) ACLS講習会(研修医ICLSコース)
- ◆4月29日(日) e-レジフェア-PREMIUM-2012in東京
- ◆4月下旬 センター通信 4月号発行



## 研修医 体験談 第3回吉原慎佑 先生

僕は元々旭川の出身ですが、十代の頃、視野を広げようと勢い余って関西の大学へ行きました。一時は出身大学に留まることも考えましたが、二十代も半ばとなった5年生の頃、遠方だった家族を安心させさらに地元にも貢献できるのではないかと思い立ち、旭川で研修することに決めました。研修病院を選ぶ際はほとんど迷わずに決めましたが、地域の医療の中心で医学の最先端であり、志の高い先生や同僚が多くいて、学生教育にも携わることができる現場は大学病院しかありえないだろうと思い、実際そうであったと感じています。

同期の中で唯一の他大学出身者でしたが、おかげ様で気後れも感じることなく楽しく充実した研修を送っています。1年目は救急科や麻酔科、整形外科、内科を回り、2年目は皮膚科、総合診療部、地域研修など実地的な考え方を学びました。入局後も、研修でお世話になった先生方に声をかけて頂いたり、実習の学生さんと飲みに行ったりと、大学ならではの交流の広さ、面白さを実感しています。皆さんとの新しい出会いも、心から楽しみにしています。



## 【報告1】第2回症例発表会を開催しました。

平成24年3月14日(水) 18:00から、臨床第3講義室において第2回症例発表会を開催しました。今回は1年目研修医の山本哲史先生、高橋耕平先生、岡澤友希先生、岡部宏文先生の計4名が発表し、計37名の学生や医師が参加しました。質疑応答も活発に行われ、有意義な発表会となりました。投票の結果、優秀賞は岡澤先生に決定しました。



## 【報告2】平成23年度第4回CPCを開催しました。

平成24年3月6日(木)に第4回CPCを臨床第3講義室で開催いたしました。今回の症例は「自殺未遂、急性薬剤性肝障害」で、学生7名を含む68名の医師等が参加し、約1時間にわたり、活発な意見交換が行われました。



## 【報告3】修了式を開催しました。

平成24年3月22日(木) 17:00から、本院遠隔医療センター3階研修室において、平成23年度の修了式を開催しました。残念ながら全員は出席できませんでしたが、今年度から卒後臨床研修センター長となられた大崎教授からひとりひとりに修了証が手渡されました。今年度は研修医29名、歯科研修医4名の合わせて33名が無事研修を終えました。先生方の今後益々のご活躍を期待しています。

## 「母校を知ろう!!」

卒業後の研修先を決める際の参考にしていただくために、まず母校について紹介します。その方法としてまずこの紙面で順次1講座ずつ紹介します。さらに大学や病院内の様々な部署の教員の方から具体的な仕事の内容、働きがいはどこにあるのか、将来はどんな道が開けているのかなどをご紹介いただきます。

## 母校の紹介 第3回 救急医学講座

当院の救急部の活動は通常の救急医療だけにとどまらず、災害医療やドクターヘリを用いた航空医療など多岐に渡っています。これら幅広い業務に対応するため、経験のみに基づく医療ではなく、シミュレーションなどを利用したオフジョブトレーニングに力を入れており、BLSやACLSなどの心肺蘇生にはじまり、PALS、JPTEC、JATEC、ITLS、FCCS、ISLS、DMAT...等々各種標準医療コースの受講とインストラクターの要請を推進しています。救急医療は全ての科につながる病院の最初の窓口。対応する医師はリレーでたとえれば第1走者です。次に渡す専門家から「まかせて安心」と認められるよう、各種の診療ガイドラインに精通し、常に最新知識のリフレッシュを行っています。感染症診療は近年注目を浴びています。経験に基づく“とりあえず抗菌薬”を漫然と処方/継続することを慎み、根拠をもった使用を行うための知識を備え、自分たちでグラム染色を行う環境を整えて、時代の流れに沿った診療を目指しています。また、救急ICUで使える超音波技術の習得と普及にも力を入れており、2012年は研修医用の雑誌「レジデントノート」の特集や、その後の連載モノも予定しています。大学で行う何気ない研修は、全国の先進的研修病院にひけをとらない、というレベルにとどまらず、実は全国的にも先進的なことが多く含まれていることをご理解頂く好例といえます。

救急は各科の医療と密接に関連しており、無縁な科は存在しません。3年間の専従で認定資格も取得できます。専門の有無にかかわらず目の前の急変に対応できる医師を目指し、幅広い救急医療のフィールドを楽しみましょう!



## 【お問い合わせ先】

旭川医科大学 卒後臨床研修センター  
 〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1 TEL 0166-68-2198 FAX 0166-68-2199  
 E-mail: sotsugo@jim.u.asahikawa-med.ac.jp  
 ホームページもご覧ください。  
<http://www.jimu.asahikawa-med.ac.jp/shomu/sotsugo/>